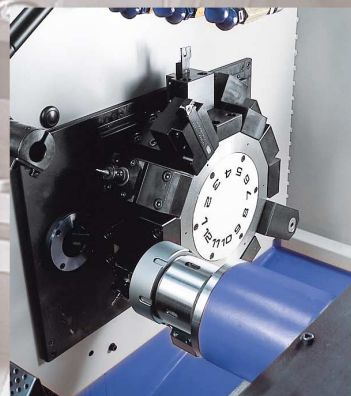
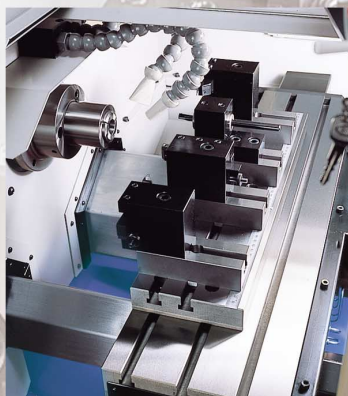


「証券コード6155」

第40期事業報告書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで



TAKAMIZ
高松機械工業株式会社

ごあいさつ



代表取締役
会長 川江 豊吉



代表取締役
社長 高松喜与志

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、日本証券業協会よりご承認いただき、去る2001年2月21日をもちまして、無事店頭公開を果たすことが出来ました。これもひとえに、皆様方の暖かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

TAKAMAZでは、ベストセラー機である「X-10」の豊富なシステムバリエーションや他社に類を見ない「XDシリーズ」等を取り揃えるとともに、加工レイアウトやシステムラインを積極的に推進しており、全社員が一丸となって永続的に開発・改良を重ねて「より一層稼ぐ機械」を

提供し続けてまいります。

また、効率経営によるコスト低減とグローバルな営業体制の構築を目指し、優秀な人材の確保と人材育成にも注力し、業績向上に努めてまいります。更に、公開企業として「将来のあるべき姿」を希求するため長期ビジョンに着手し、経営戦略として、コーポレート・ガバナンス（株主重視の企業統治）およびROE（株主資本利益率）、ROA（総資本利益率）並びにキャッシュフロー等を重視した経営を目指すことにより、株主・顧客・取引先そして社会から信頼される企業として努力してまいります。

何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



日本証券業協会会長より登録証を授与

平成13年6月

代表取締役会長

川江 豊吉

代表取締役社長

高松喜与志

営業の概況（連結）

(1) 当期の概況

当期のわが国経済は、依然として個人消費に目立った回復は見られず、景気の回復は民間設備投資の拡大に依存した状態が続き、自立回復色が強まる様子は見られませんでした。下半期には、海外景気の減速や株価低迷により、企業収益の先行き懸念が台頭し、景気は後退局面に入るのではないかとの見方も出てまいりました。

このような状況の中で、当社グループの当連結会計年度は、売上高は、100億11百万円と前年同期と比べ20億26百万円（25.4%）の増収。営業利益は、8億22百万円と前年同期と比べ5億66百万円（220.4%）の増益。経常利益は、7億96百万円と前年同期と比べ5億87百万円（282.2%）の増益。当期純利益は、3億97百万円と前年同期と比べ2億49百万円（167.6%）の増益となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの業績

工作機械事業

工作機械業界におきましては、前年度に引き続き、IT関連投資の好調持続と一般機械・自動車業界の設備投資意欲向上により、内需主導で受注額は好調に推移しました。こうした状況の中で、当社は、内外市場におきまして、工作機械本体の精度向上・新製品の開発によるクオリティーの高い商品群に、加工部品の自動供給装置、計測装置及び洗浄装置等の豊富な自動化商品群を付加するとともに、「生産システム」「加工ノウハウ」も同時に提供し、ユーザーに最適なシステムの構築に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社の当期の売上高は、98億28百万円と前年同期と比べ20億6百万円（25.6%）の増収となりました。このうち内需は81億85百万円で前年同期と比べ20.2%、外需は16億42百万円で前年同期と比べ61.7%といずれも増加し、輸出比率は16.7%となりました。一方、収益面では、製造原価の低減や諸経費の削減等に全社的に取り組み、収益確保に向け努力いたしました結果、営業利益は、8億7百万円と前年同期と比べ5億72百万円（243.5%）の増益となりました。

ファイナンス事業

当期の売上高は、2億32百万円と前年同期と比べ11百万円（5.4%）の増収。営業利益は、3百万円と前年同期と比べ△2百万円（△41.4%）の減益となりました。

(3) 次期の見通し

日本工作機械工業界の2001年（暦年ベース）の受注見通しは、前年比7.7%増の10,500億円を予想しておりますが、国内においては、自動車産業の底堅い設備投資計画が受注を下支えする一方、好調であった海外需要が調整局面を迎えること、また収益面においては、需要の伸び悩みの中で価格面での競争激化が予想されることから、工作機械事業部門での一層の生産性の向上、原価低減を追求するとともに、新分野事業の立ち上げにより業績の向上に取り組んでまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

工作機械事業

当社は、お客様第一主義に徹した販売戦略を軸に、技術アドバイザーチーム及び構想設計チームの設置による提案型営業を指向するとともに、生産性・品質の向上、納期の短縮、技術・開発力の強化等の経営課題にも取り組み、更に情報技術等新分野の商品開発に専担者を配置し、新たに工作機械以外のIT関連産業の分野及び自動車部品加工の売上を確保していく所存であります。

ファイナンス事業

平成12年6月末をもってリース及び割賦販売に関する新規業務を廃止しておりますが、今後とも損害・生命保険代理業務、貸金業務について、効率的な経営を展開していく所存であります。

”稼ぐ機械を提供する” これが私たちの目標です。

1976年世界初対話型CNC旋盤「TCC-8」の開発に端を発し、以来 **TAKAMAZ** は、オリジナリティの追求により、独創技術の開発を積み重ねてきました。
そして **TAKAMAZ** は自動化周辺装置の開発にも挑み、トータルシステムとしての提案を積極的に展開、お客様に満足していただける商品「稼ぐ機械」を日々造り続けています。

主力製品

X series

月産70台
延納入台数3000以上
を誇る大ベストセラー機。

CNC精密旋盤
X-10 i



XD series

油を必要としない
オイルレス構造で、
環境と生産性の両立を実現。

CNC精密旋盤
XD-8



XY series

マシニング並みの
機能を秘めた
複合マシン。

CNC精密複合旋盤
XY-2000 Mighty

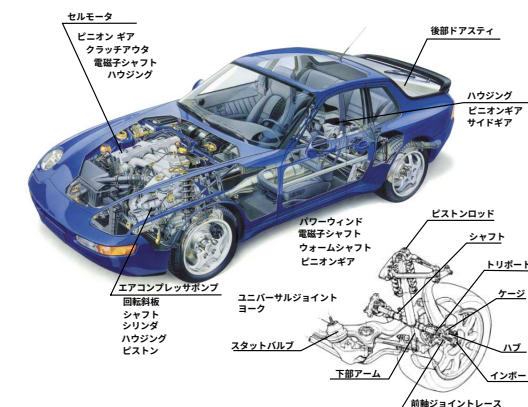
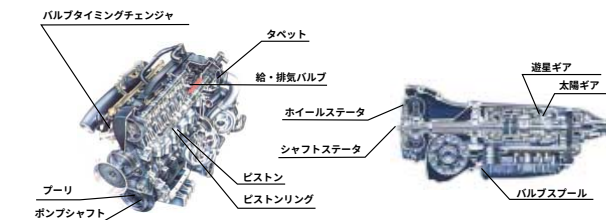


加工事例

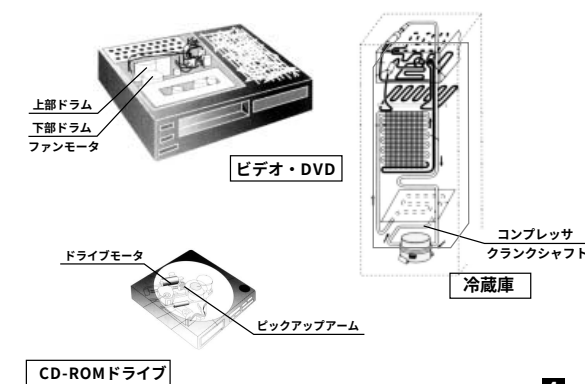
当社の製品は、幅広い部品加工に活用されています。

自動車部品

※イラストはイメージです



IT関連機器・電化製品部品



50余年の販売実績の中で培われてきた
 “ローダー一体型”の設計思想を念頭に豊富な周辺装置でトータル自動化システムを演出
 「高い評価を得ています。」

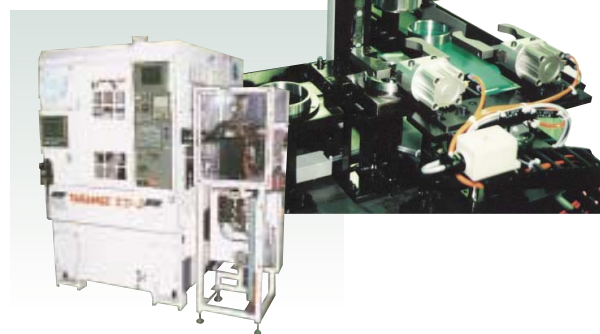
自動化を促進するローダー

ローダー（自動供給、排出装置）とNC旋盤本体を一体化して、ご提供。システム全体をサポートします。



信頼をサポートするワーク計測装置

寸法のバラツキをNC旋盤本体にフィードバック。常に安定した寸法品質を保持し不良品を出さないようにします。



ステーションストック

生産形態に応じ、イン／アウトを分別／共用できます。



コンベア方式

場所をとらず、ある程度の個数をストックできます。寝かし置き、立て置きが柔軟に対応できます。



トレーチェンジャ式ストック

加工ワークをバケットごと管理できます。



切削効率を高めるクーラント装置

常に冷却されたクーラントを噴出しながら加工するため、加工時の発熱が極めて少なく、精度向上が得られます。



TAKAMAZ コレットチャック

タカマツブランドとして自社開発したコレットチャックは、加工から熱処理までの工程を合理化した一貫体制の専用工場にて製作しています。コレット振れ精度は、JIS規格をクリアするタカマツ規格の設定により、信頼性のある商品を皆様に提供いたしております。



Topics

平成13年度全国ディーラー会議

毎年春に当社では全国ディーラー会議を行っています。日頃御世話になっている全国多数のディーラー様に当社まで集まって頂き、当期方針、新商品及び今後の商品開発計画などの説明をするほか、ディーラー様からも要望や意見などを伺うなどして、お互いの結束をより堅固にし、意思疎通を図る会議です。

平成13年度のディーラー会議は4月24日(火)に当社研修室にて行いました。今回も多くのお客様様に集まって頂き、質疑応答では厳しい意見も出るなど、熱気のこもった会議になりました。出された意見等は真摯に受けとめ、今後より一層の成長をしたいと考えております。



シカゴショー開催

世界最大級の工作機械展示会『シカゴ・ショーIMTS2000』が平成12年9月6日から8日間米国シカゴ市で開催され、北米はもとよりヨーロッパ、アジアから多くの工作機械ユーザーが『最新の技術』を求めて集まりました。

当社は、これまでの実績から過去最大のブーススペースの展開を認められ、単独で最新の旋盤機械5台を展示しました。

会場では『World Lathe—Specialist (世界的—旋盤の達人)』、日本の“**TAKAMAZ**”をテーマに展示機の切削デモを行い、『**TAKAMAZ**』をより世界に広めてきました。



第三工場竣工式

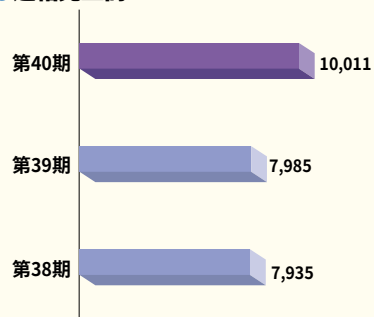
平成13年3月16日(金)に第三工場の竣工式を行いました。神官による竣工式が万事滞りなく終了した後、始動式として高松社長が設備に電源を入れ、無事に新事業を立ち上げることができました。当工場は4月より稼働しております。

部品加工は当社として初めての事業です。しかし、自社製品による部品加工を通じて、(株)デンソーとの技術交流や、自動化ラインによるモデル工場作りを目指すことにより、技術の向上、新製品の開発につなげ、時代やお客様のニーズに即した《稼ぐ機械》を提供していきたいと考えております。

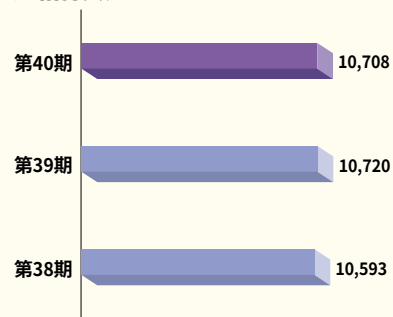


連結業績推移

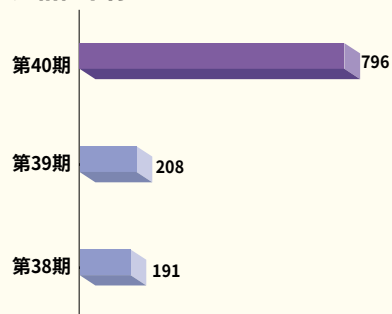
● 連結売上高 (単位：百万円)



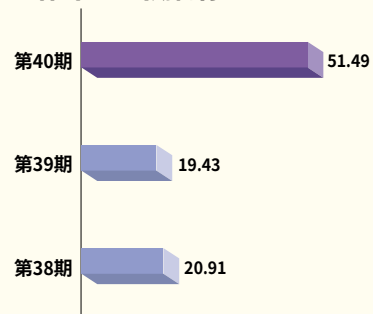
● 連結総資産 (単位：百万円)



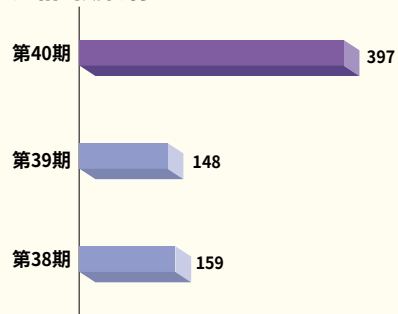
● 連結経常利益 (単位：百万円)



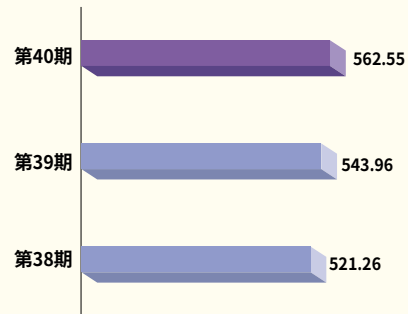
● 1株当たり当期純利益 (単位：円)



● 連結当期純利益 (単位：百万円)



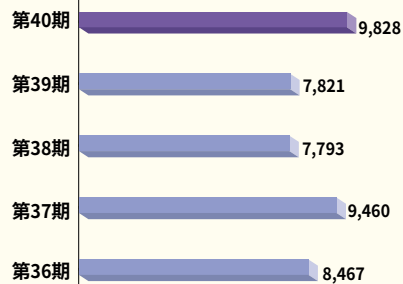
● 1株当たり純資産額 (単位：円)



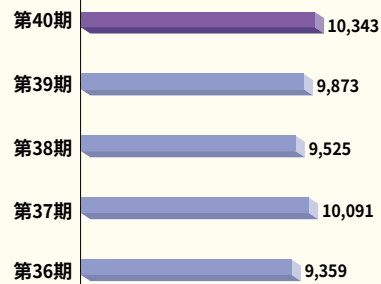
(注) 第37期以前は連結財務諸表を作成しておりません。

単独業績推移

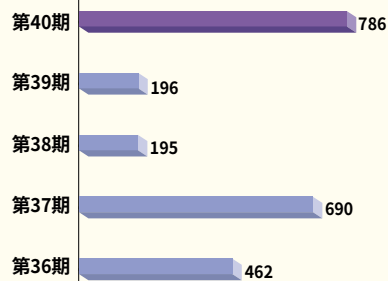
●売上高 (単位：百万円)



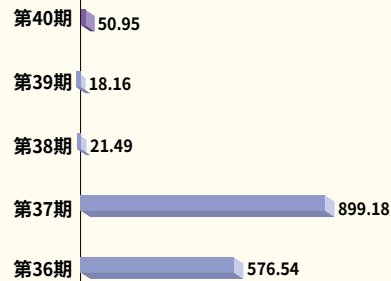
●総資産 (単位：百万円)



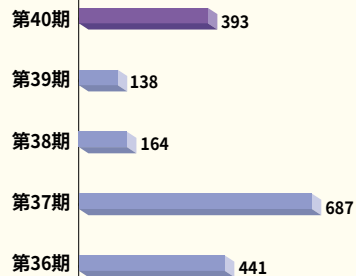
●経常利益 (単位：百万円)



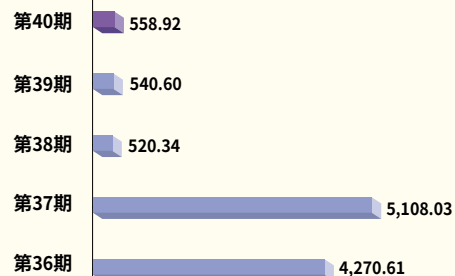
●1株当たり当期利益 (単位：円)



●当期利益 (単位：百万円)



●1株当たり純資産額 (単位：円)



(注) 平成10年8月1日付をもって、500円額面株式1株を50円額面株式10株に分割しております。そのため、第38期における1株当たりの当期利益、1株当たりの純資産額は、期首に株式分割が行われたものとして算出しております。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成13年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成12年3月31日現在)	科目	当連結会計年度 (平成13年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成12年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,180,721	7,198,373	流動負債	5,570,237	6,295,037
現金及び預金	1,475,860	1,715,279	支払手形及び買掛金	3,418,291	2,753,771
受取手形及び売掛金	3,580,152	3,869,338	短期借入金	1,431,520	3,241,500
割賦売掛金	43,188	52,713	未払法人税等	381,345	6,181
営業貸付金	42,870	57,831	未払消費税等	2,684	69,845
たな卸資産	1,791,083	1,291,607	製品保証引当金	12,336	10,613
未収消費税等	9,200	—	賞与引当金	102,962	66,188
繰延税金資産	222,448	153,599	その他の流動負債	221,098	146,938
その他の流動資産	55,429	91,401	固定負債	440,919	264,265
貸倒引当金	△ 39,512	△ 33,399	長期借入金	260,960	156,480
固定資産	3,527,688	3,522,253	繰延税金負債	39,689	20,103
有形固定資産	3,121,951	3,101,936	退職給与引当金	—	40,358
賃貸資産			退職給付引当金	140,229	—
リース資産	172,664	261,683	長期未払金	—	47,281
社用資産			その他の固定負債	41	42
建物及び構築物	668,049	617,408	負債合計	6,011,157	6,559,303
機械装置及び運搬具	410,700	491,613			
工具器具及び備品	166,140	127,130	資本の部		
土地	1,604,099	1,604,099	資本金	1,247,395	1,172,495
建設仮勘定	100,297	—	資本準備金	1,190,355	1,069,955
無形固定資産	3,229	3,229	連結剰余金	2,244,246	1,918,873
電話加入権	3,229	3,229	その他有価証券評価差額金	15,257	—
投資その他の資産	402,507	417,086	資本合計	4,697,253	4,161,323
投資有価証券	175,763	181,510			
保険積立金	155,688	196,799	負債、少数株主持分 及び資本合計	10,708,410	10,720,626
その他の投資その他の資産	109,489	144,931			
投資評価引当金	—	△ 51,422			
貸倒引当金	△ 38,434	△ 54,733			
資産合計	10,708,410	10,720,626			

連結財務諸表

● 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)
売上高	10,011,489	7,985,170
売上原価	7,568,289	6,334,147
売上総利益	2,443,199	1,651,023
販売費及び一般管理費	1,620,248	1,394,170
営業利益	822,951	256,852
営業外収益	37,228	34,547
受取利息	5,437	6,967
受取配当金	2,208	1,851
受取保険金	10,827	3,134
雑収入	18,754	22,593
営業外費用	64,046	83,105
支払利息	35,604	67,590
手形売却損	13,741	—
新株発行費	9,467	—
雑損失	5,234	15,514
経常利益	796,133	208,294
特別利益	3,805	7,687
投資有価証券売却益	2,318	—
固定資産売却益	156	100
貸倒引当金戻入額	1,331	7,587
特別損失	77,388	102,241
固定資産売却損	3,799	21,065
固定資産除却損	18,239	8,878
役員退職慰労金	—	2,360
投資評価引当金繰入額	—	22,657
退職年金過去勤務費用	—	47,281
投資有価証券売却損	433	—
貸倒損失	3,500	—
子会社整理損	2,406	—
子会社株式評価損	4,348	—
退職給付会計基準変更時差異	44,661	—
税金等調整前当期純利益	722,550	113,740
法人税、住民税及び事業税	385,134	6,181
法人税等調整額	△ 60,332	△ 41,102
当期純利益	397,748	148,661

● 連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)
連結剰余金期首残高	1,918,873	1,745,193
連結剰余金増加高	—	92,393
過年度税効果調整額	—	92,393
連結剰余金減少高	72,375	67,375
配当金	57,375	57,375
役員賞与 (うち監査役賞与)	15,000 (1,100)	10,000 (1,000)
当期純利益	397,748	148,661
連結剰余金期末残高	2,244,246	1,918,873

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,620,130	730,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,237	100,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,635,960	△ 874,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 296	519
現金及び現金同等物の増加額	13,110	—
現金及び現金同等物の減少額	—	△ 42,533
現金及び現金同等物の期首残高	160,071	202,605
現金及び現金同等物の期末残高	173,181	160,071

単独財務諸表

●貸借対照表

(単位：千円)

科目	第40期 (平成13年3月31日現在)	第39期 (平成12年3月31日現在)	科目	第40期 (平成13年3月31日現在)	第39期 (平成12年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	6,999,581	6,745,978	流動負債	5,335,505	5,473,452
現金・預金	1,405,258	1,407,968	支払手形	2,578,856	2,038,485
受取手形	1,350,804	1,464,537	買掛金	847,309	704,575
売掛金	2,221,774	2,386,897	短期借入金	830,000	1,910,000
製品	323,506	126,334	1年以内返済予定の長期借入金	375,520	532,500
原材料	771,365	694,487	未払金	37,467	79,349
仕掛品	663,651	442,694	未払法人税等	377,477	5,960
貯蔵品	35,632	31,350	未払消費税等	—	67,832
前渡金	4,652	9,497	保証債務	4,809	—
前払費用	22,344	25,657	未払費用	41,458	40,431
未収収益	110	138	前受金	217	10,001
未収入金	8,269	39,207	預り金	18,143	6,046
未収消費税等	9,200	—	賞与引当金	102,562	66,188
繰延税金資産	218,708	146,639	製品保証引当金	12,336	10,613
その他流動資産	3,105	3,366	設備支払手形	109,347	1,470
貸倒引当金	△ 38,803	△ 32,799	固定負債	340,506	264,265
固定資産	3,343,488	3,127,376	長期借入金	160,960	156,480
有形固定資産	2,898,175	2,727,655	長期未払金	—	47,281
建物	644,213	596,596	長期預り金	41	42
構築物	23,835	20,812	繰延税金負債	39,275	20,103
機械及び装置	375,548	406,425	退職給与引当金	140,229	40,358
車両運搬具	11,426	5,850	負債合計	5,676,011	5,737,718
工具器具備品	138,755	93,870			
土地	1,604,099	1,604,099	資本の部		
建設仮勘定	100,297	—	資本金	1,247,395	1,172,495
無形固定資産	3,005	3,005	法定準備金	1,275,613	1,147,976
電話加入権	3,005	3,005	資本準備金	1,190,355	1,069,955
投資等	442,306	396,715	利益準備金	85,258	78,021
投資有価証券	173,556	126,921	剰余金	2,129,176	1,815,165
子会社株式	50,000	91,740	特別償却準備金	—	1,332
出資金	5,380	5,380	配当準備積立金	137,000	137,000
長期営業債権	52,958	70,057	土地圧縮積立金	158,595	158,595
保証金	25,436	50,326	固定資産圧縮積立金	2,598	2,799
保険積立金	155,688	140,087	別途積立金	1,290,000	1,020,000
その他投資	9,730	9,167	当期未処分利益	540,982	495,437
投資評価引当金	—	△ 51,422	(うち当期利益)	(393,623)	(138,935)
貸倒引当金	△ 30,444	△ 45,543	評価差額金	14,873	—
資産合計	10,343,070	9,873,354	資本合計	4,667,058	4,135,636
			負債資本合計	10,343,070	9,873,354

単独財務諸表

●損益計算書

(単位：千円)

科目	第40期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	第39期 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益	9,828,167	7,821,501
売上高	9,828,167	7,821,501
営業費用	9,020,240	7,586,303
売上原価	7,403,007	6,203,317
販売費及び一般管理費	1,617,233	1,382,986
営業利益	807,926	235,197
営業外損益の部		
営業外収益	39,589	33,288
受取利息・配当金	6,884	8,020
その他営業外収益	32,705	25,267
営業外費用	60,751	72,102
支払利息・割引料	32,734	58,999
その他営業外費用	28,017	13,102
経常利益	786,764	196,383
(特別損益の部)		
特別利益	156	7,687
固定資産売却益	156	100
貸倒引当金戻入額	—	7,587
特別損失	76,005	102,241
固定資産売却損	3,799	21,065
固定資産除却損	17,290	8,878
役員退職慰労金	—	2,360
投資評価引当金繰入額	—	22,657
退職年金過去勤務費用	—	47,281
貸倒損失	3,500	—
子会社整理損	2,406	—
子会社株式評価損	4,348	—
退職給付会計基準変更時差異	44,661	—
税引前当期利益	710,915	101,829
法人税、住民税及び事業税	380,843	5,960
法人税等調整額	△ 63,552	△ 43,066
当期利益	393,623	138,935
前期繰越利益	147,359	156,447
過年度税効果調整額	—	83,469
税効果会計適用に伴う		
特別償却準備金取崩高	—	954
税効果会計適用に伴う		
土地圧縮積立金取崩高	—	113,624
税効果会計適用に伴う		
固定資産圧縮積立金取崩高	—	2,005
当期未処分利益	540,982	495,437

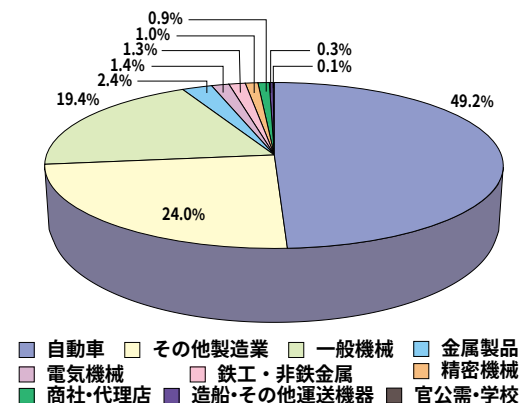
●利益処分

(単位：円)

科目	第40期	第39期
当期未処分利益	540,982,981	495,437,850
特別償却準備金取崩額	—	1,332,371
固定資産圧縮積立金取崩額	187,077	201,592
計	541,170,058	496,971,813
上記金額を次のとおり処分いたします。		
利益準備金	10,350,000	7,237,500
配当金	83,500,000	57,375,000
	(1株につき10円) (普通配当 7円50銭) (剰上配当 2円50銭)	(1株につき 7円50銭)
役員賞与金	20,000,000	15,000,000
	(監査役分1,500,000円含む)(監査役分1,100,000円含む)	
別途積立金	300,000,000	270,000,000
次期繰越利益	127,320,058	147,359,313

(注) 特別償却準備金及び固定資産圧縮積立金の取崩額は租税特別措置法の規定に基づくものであります。

■売上高の構成比率



会社の概況

(平成13年3月31日現在)

■会社概要

商 号 高松機械工業株式会社
設 立 昭和36年7月
資 本 金 12億4,739万円
本 社 石川県松任市旭丘1丁目8番地
従 業 員 数 273名
ホームページアドレス <http://www2.shift.ne.jp/~takamatu/>

■株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数.....18,000,000株
② 発行済株式総数.....8,350,000株
③ 株主数.....414名

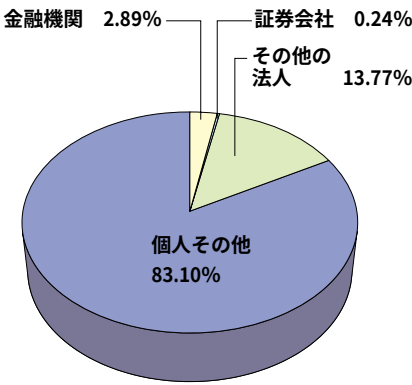
■大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	持株比率
高 松 喜 与 志	869 千株	10.41 %
川 江 豊 吉	582	6.97
高松機械工業社員持株会	570	6.83
名古屋中小企業投資育成株式会社	416	4.99
日本生命保険相互会社	400	4.79
高 松 邦	346	4.15
株 式 会 社 北 國 銀 行	340	4.07
三井海上火災保険株式会社	340	4.07
北国キャピタル株式会社	301	3.60
明治生命保険相互会社	300	3.59

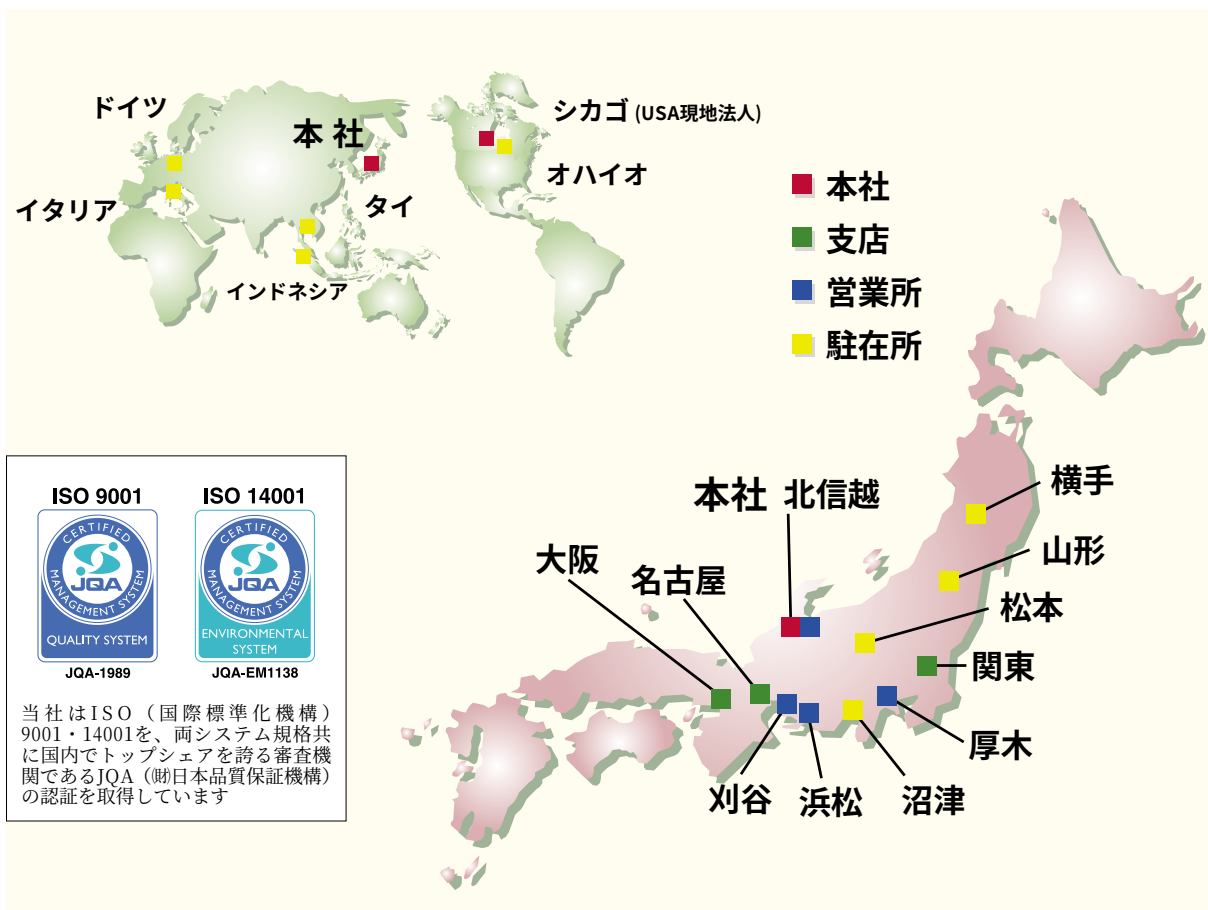
■役員

代表取締役会長 川 江 豊 吉
代表取締役社長 高 松 喜与志
常 務 取 締 役 (技術担当) 前 田 充 夫
常 務 取 締 役 (営業担当) 中 西 与 平
取 締 役 (品質保証部長) 上 田 十世光
取 締 役 (生産本部長) 池 上 佳 信
取 締 役 (営業本部内営業部長) 川 上 友 安
取 締 役 (管理部長) 溝 口 清
取 締 役 (産機部長) 水 上 喜 義
常 勤 監 査 役 岡 田 武 男
監 査 役 田 井 正 樹
監 査 役 田 中 幹 則
監 査 役 谷 口 郁 朗

■株主構成比率



ネットワークとサービス体制



本社工場



第二工場



第三工場

株主メモ

決算期日 3月31日

定時株主総会 6月

株主確定日確定基準日 3月31日

名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社証券代行部

(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10 〒183-8701
(電話照会先) 住友信託銀行株式会社証券代行部

TEL 東京 (042) 351-2211

大阪 (06) 6833-4700

同 取次所 住友信託銀行株式会社全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞

お問い合わせ先 管理部

TEL 直通 076-274-1410

FAX 076-274-1418